

調査レポート SURVEY REPORT

福岡ソフトバンクホークスの 経済波及効果

福岡ソフトバンクホークス（以下「ホークス」）は1989年に福岡に移転して以降、福岡の経済に大きく貢献してきました。

今回、FFGビジネスコンサルティングでは、2012年を継続して、ホークスの協力を得て、ホークスの福岡県への経済波及効果の調査を行いました。

株式会社FFGビジネスコンサルティング
産業調査部 主任研究員
吉武 直紀

はじめに ～経済波及効果とは～

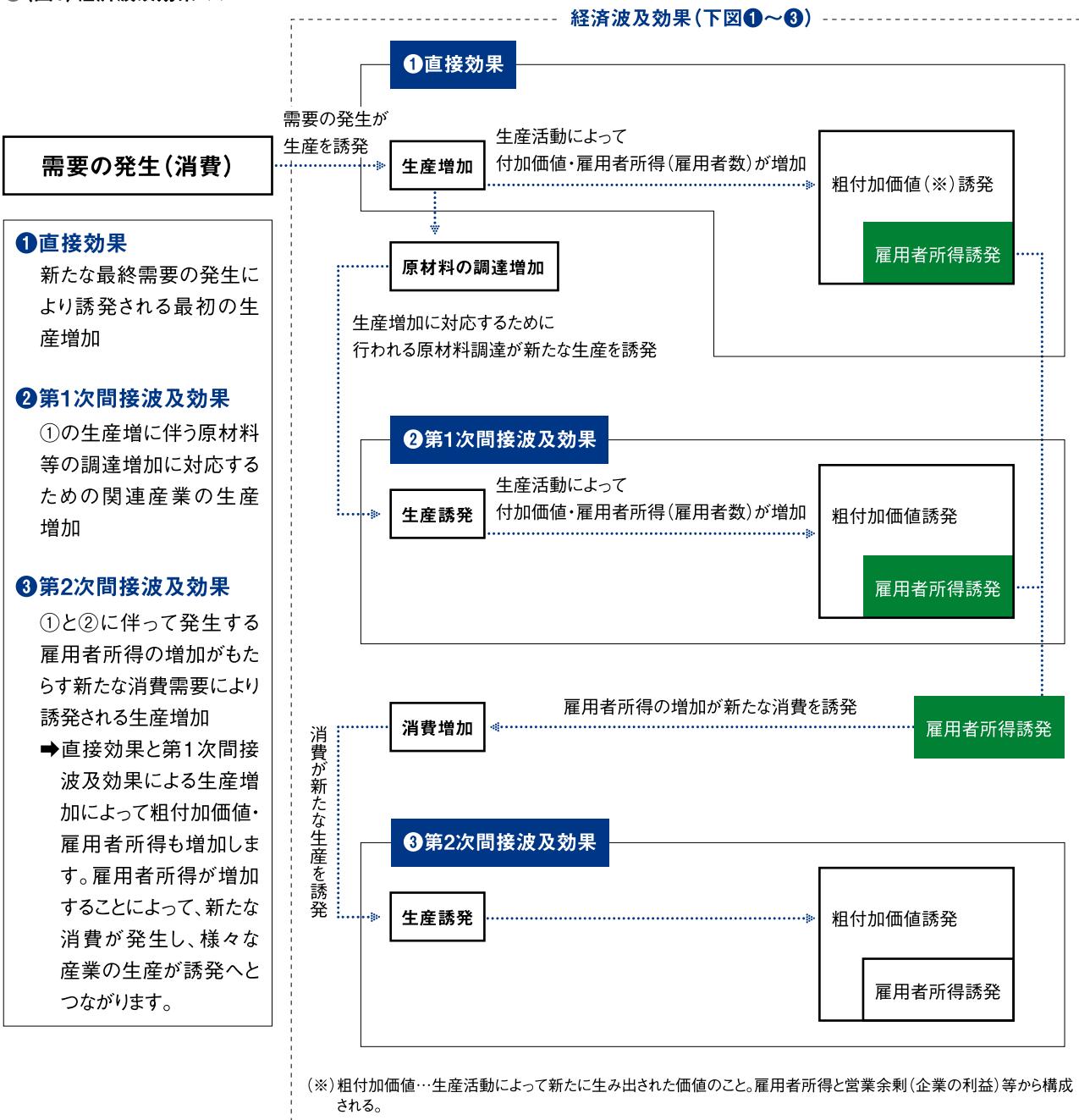
「経済波及効果」とは、イベントの開催や建設投資等の新たな需要が発生した時に、その需要が地域経済に及ぼす影響を考察する際に実施する試算であり、「経済効果」と呼ばれることもあります。新聞等で「〇〇による経済波及効果は〇〇億円」といった記事をご覧になられた方も多いのではないかでしょうか。

経済波及効果推計のイメージを記載したのが図1です。新たに発生した需要を起点に、生産が次々と誘発されている(=波及している)ことが見ていただけると思います(図1)。

具体的な例でご紹介しますと、県内で建設工事が行われる場合、工事費の総額(建設投資額)が直接効果にあたります。そして、工事を行うときに使用するセメントや建機を動かすための燃料等の生産増加が第1次間接波及効果にあたり、建設工事の作業者や建設工事に伴い、生産が増加するセメント会社等で働く雇用者所得の増加によって生じる新たな消費を第2次間接波及効果と言います。

そして、直接効果、第1次間接波及効果、第2次間接波及効果の合計を通常

●(図1)経済波及効果のフロー



(出所)各種資料を基にFFGビジネスコンサルティング作成

「経済波及効果」と呼びます。



©SoftBank HAWKS

©SoftBank HAWKS

ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果（2018年レギュラーシーズン）は約511億円

ホークスの経済波及効果

～ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果（2018年レギュラーシーズン）は約511億円～

経済波及効果の推計

今回、2018年レギュラーシーズンにおけるホークスの経済波及効果を推計するにあたり、まず波及効果を生み出す前提となる「需要額の推計」を行ったうえで、「経済波及効果（前頁の①～③）の推計」を実施しました。以下、それぞれの概略について紹介します。

需要額の推計

需要額の推計にあたっては、ホークスが公表しているデータや、2018年の8月から9月にかけて実施した福岡ヤフオク！

ドームへの来場者向けアンケート調査結果等を基に、図2の項目の数字をまとめました。

その結果を前回（2012年）調査の結果と比べてみると、観客1人あたりの消費額、観客数ともに増加していることが分かります（図3）。一つの要因として考えられるのが、福岡県以外から来場する観客の割合の増加です（P34図4）。ホークスでは2015年からサービス向上プロジェクト

トに取り組むなどファン層の拡大に努めており、福岡県以外を含めた観客の増加や宿泊客割合の増加、そして消費額の増加につながったと考えられます。

前述の方法で推計した項目ごとの需要額を基に、福岡県が公表している「平成23年福岡県経済波及効果分析ツール（※1）」を活用し、経済波及効果の推計を行いました。その結果、ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果は約511億円（福岡県外をあわせると約722億円）となり、2012年の調査と比べると16億円（福岡県外を含めると85億円）増加している、という結果となりました（P34図5）。

需要額の増加によって、福岡県への経済波及効果も増加していますが、特に福岡県外を含めた経済波及効果が大きく増加していることが分かります。これは、前回の調査時と比べ、福岡県の経済と県外の経済のつながりが、より深くなっていることが背景にあると考えられます。

（※1）福岡県が「平成23年（2011年）福岡県地域間産業連関表」を用いて作成公表（2016年7月）した、経済波及効果の分析ツール

●(図2)需要費額推計のための項目と算出方法

	対象項目	レギュラーシーズン(クライマックスシリーズ及び日本シリーズは除く)
観客の消費額	交通費	福岡 ヤフオク!ドームにて実施したアンケート調査結果 [2018年8月と9月の4日間(平日2日と土日祝日の2日)で 観客を対象に実施(回収サンプル数1,121)]
	宿泊費	
	飲食費	
	土産・買物代	
メディアの需要額	入場料 (福岡 ヤフオク!ドームチケット代)	ホークスの公式HPの掲載情報等を基にFFGビジネスコンサルティングにて 推計
	観客数	ホークスの公表データ
メディアの需要額	CM広告料	ホークス戦の放送実績及び広告代理店、インターネット等で得られる情報を 基にFFGビジネスコンサルティングにて推計
	スポーツ紙売上増加	

●(図3)観客1人あたりの消費額、観客(福岡 ヤフオク!ドーム来場者)数

		観客1人あたりの消費額	観客(福岡 ヤフオク!ドーム来場者)数	消費額(需要額)
前回調査(2012年)	日帰り客	8,654円	2,039,662人	2,352,551人 26,932百万円
	宿泊客	29,663円	312,889人	

今回調査(2018年)	日帰り客	9,384円	2,030,981人	2,402,397人 30,907百万円
	宿泊客	31,898円	371,416人	

(注)観客1人あたりの消費額は、「交通費」、「宿泊費」、「飲食費」、「土産・買物代」、「入場料」の合計額。

福岡 ヤフオク!ドームにて来場者を対象に実施したアンケート及びホークスの公表データ等を基に算出。

日帰り客数、宿泊客数については、アンケートより算出した宿泊率を基に計算。





©SoftBank HAWKS



©SoftBank HAWKS

●(図4)観客の居住地域別割合(福岡 ヤフオク!ドームにおけるアンケート調査より)

		平日	休日	全日程
前回調査(2012年)	福岡都市圏(※)	47.7%	38.1%	42.8%
	福岡県(福岡都市圏を除く)	30.1%	25.8%	27.9%
	九州・山口県(福岡県除く)	16.3%	26.9%	21.7%
	九州・山口県以外	6.0%	9.2%	7.6%
	合計	100%	100%	100%

今回調査(2018年)	福岡都市圏(※)	43.9%	33.6%	38.7%
	福岡県(福岡都市圏を除く)	29.8%	28.9%	29.3%
	九州・山口県(福岡県除く)	17.8%	28.0%	22.9%
	九州・山口県以外	8.6%	9.5%	9.0%
	合計	100%	100%	100%

(※)「福岡都市圏」は、糸島市、宇美町、那珂川市、大野城市、春日市、粕屋町、古賀市、篠栗町、志免町、新宮町、須恵町、太宰府市、筑紫野市、久山町、福岡市、福津市、宗像市。

●(図5)ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果の内訳

	今回調査(2018年)			前回調査(2012年)			増減
	観客の消費	メディアの需要	計…①	観客の消費	メディアの需要	計…②	
消費額(需要増額)	30,907百万円	4,683百万円	35,590百万円	26,932百万円	4,731百万円	31,663百万円	3,927百万円
経済波及効果	直接効果①	28,716百万円	4,683百万円	33,399百万円	24,884百万円	4,731百万円	29,615百万円
	第1次間接波及効果②	9,746百万円	2,491百万円	12,237百万円	10,832百万円	2,094百万円	12,926百万円
	第2次間接波及効果③	4,747百万円	728百万円	5,475百万円	5,922百万円	1,051百万円	6,973百万円
	総合波及効果①+②+③	43,209百万円	7,902百万円	51,111百万円	41,638百万円	7,877百万円	49,515百万円
	(参考)福岡県外を含めた総合波及効果	62,485百万円	9,757百万円	72,242百万円	54,383百万円	9,379百万円	63,762百万円

(注)今回の推計は、2018年レギュラーシーズン中のゲーム開催にかかる観客、メディア等の経済波及効果のみを推計したものであり、クライマックスシリーズ及び日本シリーズは対象としておりません。また、ホームゲーム開催及びメディアの需要による効果以外にも、地域の知名度向上によるシティセールス効果やホークス応援セール等の効果も見込まれますが、そちらも本件推計の対象とはしておりません。



©SoftBank HAWKS

なお、今回の調査ではクライマックスシリーズ、及び日本シリーズの経済効果については、推計対象外としておりますが、別途、福岡県で試算が行われており、ホークスのクライマックスシリーズ以降（優勝記念セール・パレードも含む）の福岡県内における経済波及効果は約313億円となります（※2）。

（※2）福岡県による推計は本件調査とは対象が異なります。詳細につきましては福岡県のプレスリリースをご確認ください。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/hakyu2018.html>

最後に

ホークスは2018年レギュラーシーズンでは2位に終わりましたが、クライマックスシリーズを勝ち上がり、日本シリーズでは広島東洋カープとの激闘を制し、2年連続日本一となりました。そして、11月25日には福岡市で優勝祝賀パレードが開催され、沿道には37万人（主催者発表）のファンが駆けつけ、選手に熱い声援が送られるなど地元は大いに沸きました。

ホークスが地域に与える影響は今回推計した経済波及効果にとどまるものではありません。レギュラーシーズンやクライ

マックスシリーズ、日本シリーズでの活躍が地域に感動や活気をもたらしているほか、野球の試合以外にも、ホークスはスポーツ・野球振興を通した地域振興活動や復興支援活動等も行うなど、金額では表すことのできない効果もあります。ホークスをはじめとする地方に本拠地を構えるプロスポーツチームの活躍は、経済・マイナードの両面において、地域の活性化に大きく貢献しているといえるのではないでしょうか。

ホークスは2019年に福岡移転30周年を迎えて、これからも九州とともに世界一を目指していくために様々な取組を行なうことが先日発表されています。今後も地域に根付いた球団として、益々活躍するところを期待しています。

PROFILE



株式会社FFGビジネスコンサルティング
産業調査部
主任研究員
吉武 直紀

2008年 福岡銀行入行
その後政府系金融機関への出向等を経て2018年より産業調査業務に従事
主な担当分野は建設業等